



10/18 水の安全・PFAS汚染に関する学習会 PFASの危険性と私たちの暮らしへの影響

自然界でほとんど分解されず、発がん性も指摘されるPFAS、PFOS等の有機フッ素化合物は、1万種以上あるといわれますが、規制されているものは現在3種類しかありません。千歳の半導体工場で実際に使われるPFAS、PFOSの種類は伏せられているため、水質測定で千歳川の環境にどの程度の影響が出るのか実態を知るのは困難な状況であることがわかりました。参加者からは、水道水のPFAS汚染が起きている沖縄で住民の血中濃度が高い現状や、分解されにくい性質に不安の声が上がりました。

北広島市の水道水は、半導体工場からの排水が入らないポイントで取水されていますが、環境汚染を懸念する立場から今後の状況についても注視していきます。



▲生活クラブ北広島支部サークル主催の学習会で、千歳川の採水調査や議会質問等について報告する佐々木ゆりか

8/17 学校に行かない選択について話すお話し会

共催/子どもの多様な学びを考える保護者の会
トーキョーコーヒー札幌北広島

北広島市では、別室登校のしくみが整えられつつあり、支援が得やすくなっている一方で、お子さんが学校に行っていない保護者の悩みとして、学校との意思疎通の難しさが話されました。情報提供として、恵庭南高校定時制で開かれている不登校等の悩みを共有するお話し会が話題にあり、横のつながりの大切さを再認識しました。

報告：鈴木祥江



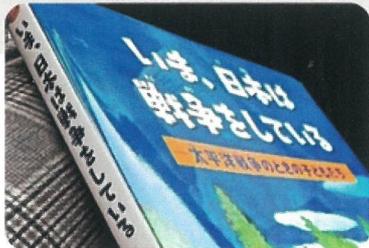
8/2 輪厚川フィールドワーク

参加者全員で輪厚川の清掃を行い、ペットボトルや缶、農業資材など40リットル2袋分を回収。自分の住むまちの川から海に流出するプラスチックごみを抑制することの大切さについて、参加者と共有しました。その後、講師の森下徹さん（北海道自然保護監視員）のレクチャーのもと川に入り、ミズカマキリなどの水生昆虫や川エビ、ヤマメ、ウキゴリ、フクドジョウなどを採集。輪厚川へ遊びに来たことがある参加者も、想像以上の生き物の種類や数の多さに驚いていました。



▲拾ったごみを広げてみんなで検証

▼採集したフクドジョウなどの生き物をトレイに並べて観察



「いま、日本は戦争をしている - 太平洋戦争のときの子どもたち -」
堀川理万子/文・絵 小峰書店

さとみのコーヒーブレイク

昨年の夏、1冊の絵本に出会いました(左写真参照)。太平洋戦争中に子どもだった方々からお話を聞き、それをもとにつくられた、今の子どもたちに戦争を伝える本です。当時、子どもだった17人からの67編のお話しが掲載され、北広島在住の方のお話も載っています。つづられている「戦時中の子どもの心のつぶやき」は、今の子どもたちも共感しやすい内容です。戦争のない平和な世界をつくるためにできることを子どもたちとも一緒に考えていきたいと思ひます。

北広島市議会 第1回定例会のご案内
会期 2月16日(月)~3月19日(木)
代表質問 2月27日(金)、3月2日(月)
問合せ：北広島市議会事務局
☎011-372-331

市民ネットワーク北海道ホームページ



インスタグラムで日々の活動を発信中

